

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・購入時の取得価額によっている。(償却原価法については、取得価額と債券金額との差額について重要性に乏しいため、適用はしていない。)

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	1,695,473,000	0	0	1,695,473,000
定期預金	104,527,000	0	0	104,527,000
小計	1,800,000,000	0	0	1,800,000,000
特定資産				
奨学資金積立基金 (定期預金)	15,735,884	0	6,280,064	9,455,820
小計	15,735,884	0	6,280,064	9,455,820
合計	1,815,735,884	0	6,280,064	1,809,455,820

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当 額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
投資有価証券	1,695,473,000	(1,695,473,000)	-	-
定期預金	104,527,000	(104,527,000)	-	-
小計	1,800,000,000	(1,800,000,000)	-	-
特定資産				
奨学資金積立基金 (定期預金)	9,455,820	(9,455,820)	-	-
小計	9,455,820	(9,455,820)	-	-
合計	1,809,455,820	(1,809,455,820)	-	-

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
平成27年度1回堺市公募公債	100,000,000	120,990,000	20,990,000
122回国債	495,473,000	581,100,000	85,627,000
159回高速道路機構債	200,000,000	239,560,000	39,560,000
165回高速道路機構債	200,000,000	240,440,000	40,440,000
クレジットリンク債(ソフトバンク5年)	100,000,000	100,000,000	0
クレジットリンク債(三菱UFJ証券HD 5年)	100,000,000	100,000,000	0
クレジットリンク債(NOMURA FMV5年)	100,000,000	100,500,000	500,000
クレジットリンク債(ソフトバンク7年)	200,000,000	200,000,000	0
クレジットリンク債(フォード5年)	200,000,000	200,000,000	0
合計	1,695,473,000	1,882,590,000	187,117,000

5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、以下のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	27,890,320
特定資産受取利息	76
特定資産(奨学資金積立基金)	6,280,064
合計	34,170,460

6. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、法人運営の財源の大部分を運用益によって賄うため、預金、債券、デリバティブ取引を組み込んだ複合金融商品により資産運用する。

当法人が利用するデリバティブ取引は、デリバティブを組み込んだ複合金融商品(仕組債)のみであり、投機を目的としたデリバティブ取引は行わない。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は、債券、デリバティブ取引を組み込んだ債券(仕組債)であり、発行体等の信用リスクにさらされている。

(3) 金融商品のリスクに係る管理体制

① 資産運用規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の資産運用規程に基づき行う。

② 信用リスクの管理

債券及び仕組債については、発行体等の信用情報や時価の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。